

## 回路基板材料「エスパネックス」 九州製造所における新工場の建設を開始 新系列（第八、第九）の建設検討にも着手

当社（社長：西 恒美）は、電子材料事業の主力商品であるフレキシブルプリント基板用無接着剤銅張積層板（2層CCL）「商品名：エスパネックス」について、日本国内をはじめ韓国・台湾・中国などのアジア各国や欧米向けなどの旺盛な需要に対応すべく、九州製造所（福岡県北九州市戸畑区）構内での新工場（第六、第七系列）の建設に着手いたしました。

「エスパネックス」は、木更津製造所（千葉県木更津市）において、この2月より新たに第四系列が営業運転を開始しており、さらに4月には第五系列も稼働を開始する予定であり、これらをあわせた年産能力は550万㎡となります。

しかしながら、2層CCLの市場は、高機能化（カメラ搭載、動画化対応、画面の高精彩化等）が進む携帯電話を中心とするデジタル機器の小型軽量化、高性能化に伴う回路基板の高密度実装化、微細加工化に不可欠な材料として拡大を続け、なかでも品質・性能に優れる「エスパネックス」へ需要が集中しており、今後ともさらに需要の増加が見込まれることから、新工場の建設に着手したものです。

このたび新工場を建設する九州製造所は、当社の主力製造拠点であるとともに、携帯電話をはじめとするデジタル機器の製造拠点として、近年成長著しい韓国・中国に近く、24時間の通関ができる北九州市国際物流特区に位置しており、さらに、同市からの特区企業集積特別助成も受けることとなっております。

新工場は第六系列（年産150万㎡）および、第七系列（同）の二系列に対応するもので、総投資額はおよそ50億円程度を見込んでおり、これらをあわせた木更津・九州の総年産能力は850万㎡となります。

営業運転開始は、第六系列が平成17年7月、第七系列が同年10月を予定しており、第七系列の建設については、再度需給動向を確認した上で正式決定いたします。

また、さらに今後、韓国・台湾をはじめとするアジアでの大幅な需要増が見込まれることから、第八系列（年産150万㎡）および、第九系列（同）の建設についても、九州製造所構内での立地を有力候補として、その検討に着手いたしました。

高機能化・高精彩化が進む携帯電話をはじめ、パソコン・テレビ用の液晶ドライバやプラズマディスプレイ、デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラなど、「エスパネックス」の成長を支える市場は世界的な広がりを見せ、その需要も増加の一途をたどっております。

当社電子材料事業部では、日本国内はもとより、米国、台湾、中国および韓国に所在する現地子会社・支店等を拠点に、現地におけるお客さまへの営業・技術面でのサービス向上を図るとともに、積極的なマーケットの開拓を進め、成長著しい2層CCLの世界市場で「エスパネックス」の過半のシェアを維持・拡大し、デファクトスタンダードの地位を確固たるものにしてまいります。

また、優れた昇華・精製技術などでトップシェアを誇る有機EL材料や、ブラックマトリクス用インクをはじめRGBインクなどの液晶関連材料、ガラス基板代替を目指す高耐熱プラスチック基板などの「表示デバイス材料」、次世代型実装材料や絶縁材料など「半導体関連材料」についても、今後ともさらなる事業基盤の拡充を進めてまいります。

### 「エスパネックス」年産能力の推移

平成元年～	販売開始		
～平成14年5月	第二系列(木更津)まで稼働	120万㎡/年	
平成14年6月	第三系列(木更津)営業運転開始	180万㎡/年	
平成15年5月	新硬化プロセス(木更津)稼働	300万㎡/年	
平成16年2月	第四系列(木更津)営業運転開始	400万㎡/年	
平成16年4月	第五系列(木更津)営業運転開始予定	550万㎡/年	< 試運転中 >
平成17年7月	第六系列(九州)営業運転開始予定	700万㎡/年	< 着 工 >
平成17年10月	第七系列(九州)営業運転開始予定	850万㎡/年	< 着 工準備中 >
時期未定	第八系列	1,000万㎡/年	< 検討に着手 >
時期未定	第九系列	1,150万㎡/年	< 検討に着手 >
平成16年2月	台湾・Crest technology 社委託生産開始	35万㎡/年	

以 上

本件に関するお問い合わせは、  
新日鐵化学株式会社 経営企画本部総務部（広報）  
：03（5759）2741まで